

IMASEN REPORT 21

第85期報告書

2021.4.1 ▶ 2022.3.31

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第85期の業績について、ご報告させていただきます。

株式会社今仙電機製作所

〒484-8507 愛知県犬山市字柿畑1番地 TEL (0568) 67-1211 (代表)

第85期 ポイント

- 1 売上は、半導体供給不足の影響を受け自動車生産台数が減少したことから、前期比2.2%の減収となりました。
- 2 営業利益は、売上減少に加え原材料高騰もあり、70百万円の営業損失となりました。
- 3 22年3月期の配当金は、基本方針である安定的、継続的な利益還元に基づき、業績の内容を勘案し、年間の配当金を1株当たり15円とさせていただきます。

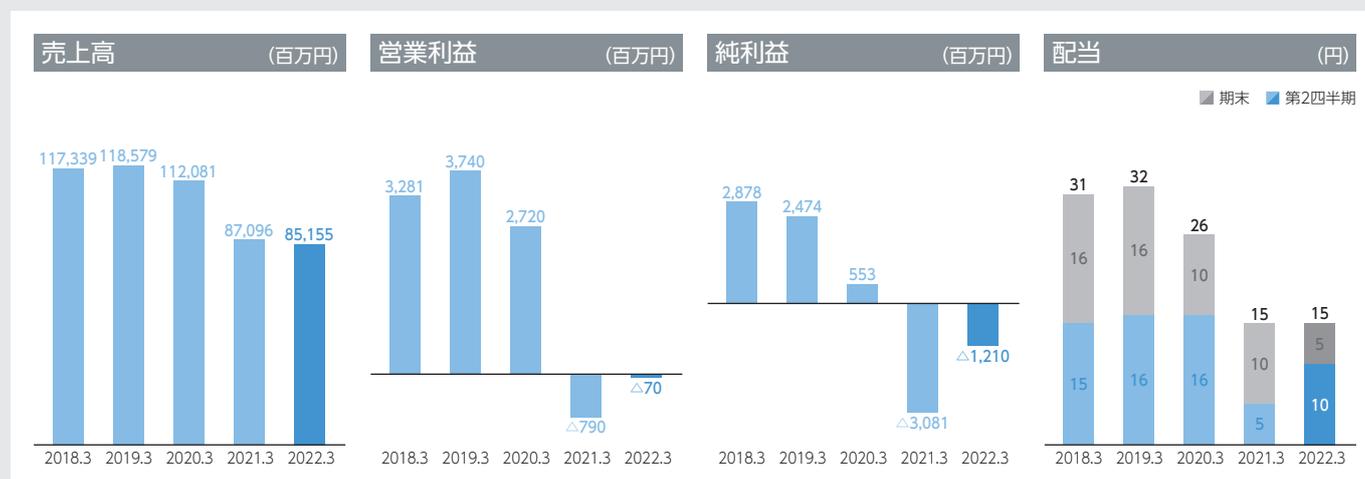


代表取締役社長執行役員 櫻井 孝充

－ 経営理念 －

「信頼される企業」、「挑戦し続ける企業」であることで
「社会に選ばれる企業」になれ

財務ハイライト 第85期 (2022年3月期)



詳細な財務情報は、当社のIRウェブサイトをご覧ください。

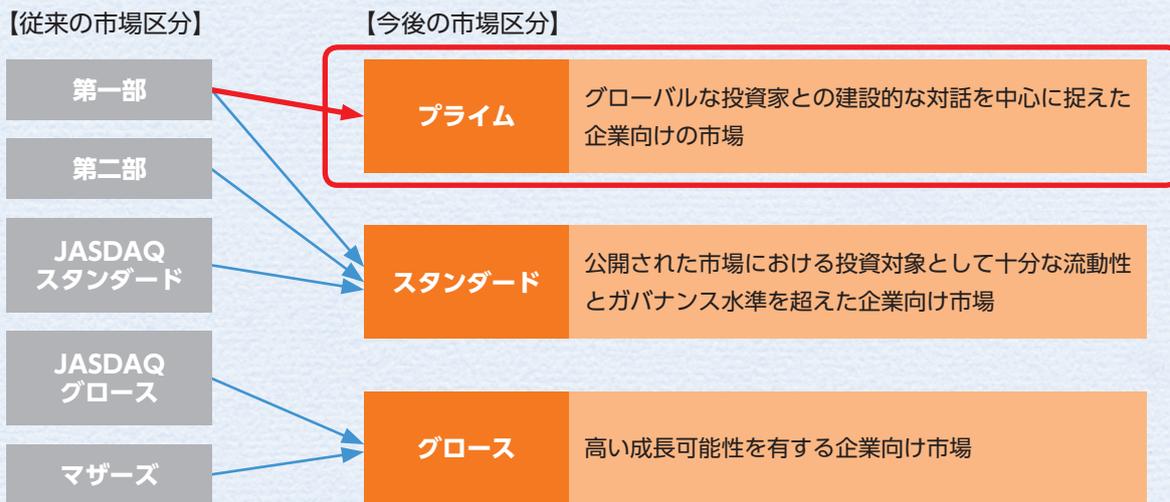
<https://www.imasen.co.jp/>

IMASEN 活動ニュース

東京証券取引所市場区分見直し 「第一部」から「プライム市場」へ

2022年4月、東京証券取引所は各市場区分のコンセプト明確化と、上場会社の持続的な企業価値向上を狙った市場区分の見直しを行い、プライム、スタンダード、グロースの3区分に再編されました。

それに対し当社は企業価値を向上させ、持続的成長に向けた事業の変革において必須であるとの考えから、プライム市場を選択しました。



ただし、移行基準日（2021年6月30日）におけるプライム市場の上場維持基準の適合状況は、「流通株式時価総額」の基準である100億円に対して、80.9億円と適合していません。

プライム市場上場維持基準の充足に向けて「株式会社今仙電機製作所新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」にもとづき、2026年3月期末までの達成を目指し、取組を進めていきます。

| 流通株式時価総額向上の基本方針 | | |
|-----------------|---|--|
| | 企業価値の向上 | 市場認知度・評価の向上 |
| 課題 | 自動車業界の100年に一度の大変革期及びグローバル化にともない外部環境の影響を受けるため、環境変化に強い経営体質構築が必要 | 株式市場やステークホルダーの皆様にご評価いただくための体制強化や活動が必要 |
| 取組 | ▶ 中長期経営計画推進による事業の変革 ▶ 顧客との関係強化、産学連携の強化 | ▶ ESG経営、コーポレートガバナンス体制の強化 ▶ IR、PR活動の充実 |

テイ・エス テック(株)様より開発賞 受賞

この度、当社のシート設計部門は、テイ・エス テック(株)様向けシートアジャスタについて開発賞を受賞しました。本開発では、世界トップレベルの軽さを実現するために、小型モーターの採用や結合方法を見直し、さらに作動音の新規格に適合するため、振動抑制構造による静音化を行い、軽量かつ高剛性のアジャスタを開発することができました。

今後も電動化、自動運転化により要求される多彩なシートアレンジにも応えるべく、更なる新商品開発に力を入れていきます。

生産拠点再編の取組

以前より取り組んできました国内生産拠点の再編について老朽化した工場建屋の統廃合、機能別の集約が完了しました。シート製品生産においてはマザー工場である岐阜工場に名古屋工場から生産機能を集約し、一貫生産を可能としました。

電装製品生産においては、点在していた4輪、2輪、産業車両用のランプ生産機能を春里工場、可児工場の相互移管により各々一貫生産を可能としました。

この取組により工場間・工程間の物流コスト低減、管理費削減を実現しました。

名古屋工場から岐阜工場への移管

岐阜工場 … シートデバイスの**生産機能集約**（一貫生産工場） **マザー工場**
名古屋工場 … シートデバイス用のプレス、及び小ロット品生産工場

春里工場と可児工場との相互移管

春里工場 … 4輪、2輪用ランプの**生産機能集約**（一貫生産工場）
可児工場 … 産業車両用ランプの**生産機能集約**（一貫生産工場）

■建屋解体によるスペース確保



機能移管後、老朽化した建屋については解体し、今後の事業への活用に向けてスペースを確保しました。

※写真は名古屋工場

ESG推進活動

犬山市との産官連携による地域貢献への取組

愛知県犬山市に本社を置く当社は、地域貢献への取組として、犬山市へIMASENグループの健康・福祉関連の取組の紹介と、それを活かした貢献活動を提案し、産官連携し進めていくことで合意しました。

今後、他の自治体とも連携強化を図り地域貢献に取り組んでいきます。



【産官連携の提案】

- 歩行測定と正しい歩き方のレクチャーによる健康づくり
- 小型モビリティの地域活用
- スポーツ義足を活用して、障がい者スポーツの普及、発展

会社概要 (2022年3月31日現在)

| | |
|-----------|---|
| 社名 | 株式会社今仙電機製作所 Imasen Electric Industrial Co.,Ltd. |
| 設立 | 1939年2月1日 |
| 資本金 | 7,289百万円 |
| 主な事業内容 | 自動車用機構製品及び電装製品の製造・販売 |
| 従業員数 | 3,852名(連結) |
| 本社所在地 | 愛知県犬山市宇柿畑1番地 |
| 開発拠点及び営業所 | 本社テクニカルセンター/ 栃木テクニカルセンター/広島テクニカルセンター/ IMASENグローバル開発・研修センター/東京支店 |
| 工場 | 岐阜工場/名古屋工場/広島工場/八百津工場/ 岡山工場/春里工場/可児工場 |
| 海外拠点 | 米国/メキシコ/中国/タイ/インドネシア/ フィリピン/インド/台湾 |

役員 (2022年6月22日現在)

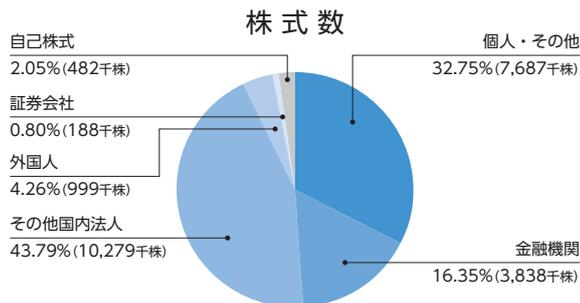
| | |
|-------------|-------|
| 代表取締役社長執行役員 | 櫻井孝充 |
| 取締役常務執行役員 | 丹羽良仁 |
| 取締役常務執行役員 | 木村学二 |
| 取締役常務執行役員 | 山野上耕一 |
| 取締役執行役員 | 堀部修一 |
| 取締役執行役員 | 宮本秀幸 |
| 社外取締役 | 永井康雄 |
| 社外取締役 | 亀山恭一 |
| 社外取締役 | 和田浩美 |
| 常勤監査役 | 真下英敏 |
| 常勤監査役 | 奥田朋近 |
| 社外監査役 | 長谷川周義 |
| 社外監査役 | 久志本修一 |

株式情報 (2022年3月31日現在)

株式の状況

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 49,195,000株 |
| 発行済株式の総数 | 23,475,352株 |
| 株主数 | 5,706名 |

所有者別分布状況



大株主 (上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| ティ・エス テック株式会社 | 7,981 | 34.71 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,673 | 7.27 |
| I M A S E N 取引先持株会 | 825 | 3.59 |
| 今仙電機従業員持株会 | 698 | 3.03 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 557 | 2.42 |
| 株式会社三十三銀行 | 505 | 2.19 |
| 株式会社タチエス | 320 | 1.39 |
| 日本発條株式会社 | 310 | 1.34 |
| 本田技研工業株式会社 | 290 | 1.26 |
| UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT | 280 | 1.22 |

※ 1. 当社は、自己株式を482千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式(482千株)を控除して計算しております。

株主メモ

| | |
|---------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 電話照会先 | 0120-782-031 (フリーダイヤル) |
| 同取次窓口 | 三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 証券コード | 7266 (東証プライム・名証プレミア) |

当社ホームページのご案内



様々な情報をホームページでご覧になれます。 >>>



公式Twitter @Imasen_Official >>>

